

## 6 河辺地域

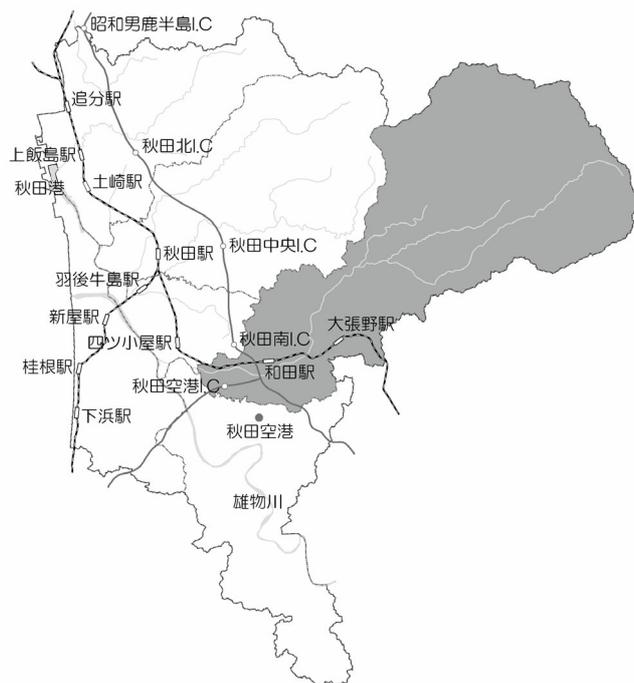
### (1) 地域の概要

#### ① 概況

河辺地域は、和田駅の北側から国道 13 号にかけて市街地が形成されており、地域を東西に流れる岩見川等の河川沿いに集落や田園が広がる緑豊かな環境です。

和田地区には、旧役場庁舎を活用した河辺市民サービスセンターなど行政機能が立地しており、商業機能は和田駅周辺および国道 13 号沿道に見られます。

また、インターチェンジや空港に近接した七曲臨空港工業団地が立地しているほか、太平山県立自然公園など郊外に広がる自然環境、地域の歴史を伝える旧羽州街道や豊島館跡など多様な特性を有しています。

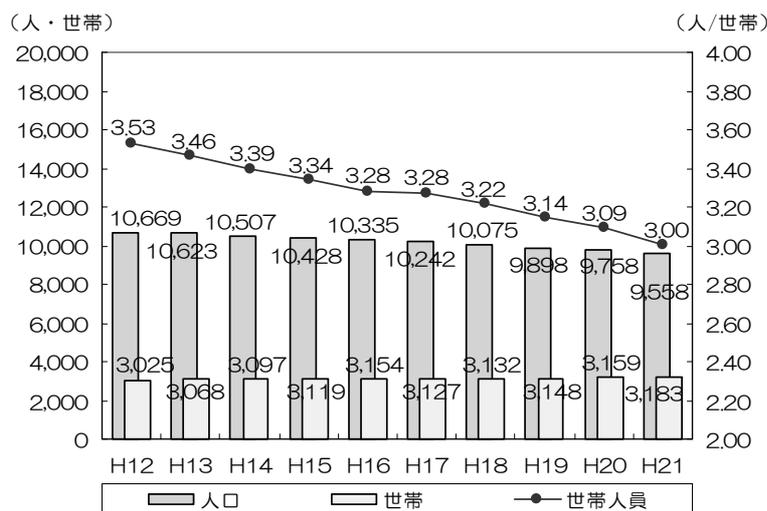


#### ② 人口・世帯数の推移

河辺地域の平成 21 年 10 月 1 日時点の人口は 9,558 人となっており、平成 12 年からの 10 年間で約 10.4% (1,111 人) 減少しています。

一方、世帯数は、平成 21 年で 3,183 世帯と 10 年間で約 5.2% (158 世帯) 増加しています。1 世帯当たりの人員は 3.53 人/世帯から 3.00 人/世帯に減少しており、核家族化や単身世帯が進行しています。

地域内の年齢別人口構成比 (平成 17 年国勢調査より) をみると、年少人口 (15 歳未満) が 10.6%、生産年齢人口 (15~64 歳) が 57.5%、老年人口 (65 歳以上) が 31.9% と、7 地域の中で老年人口の割合が最も高い地域となっています。



※住民基本台帳 (各年 10 月 1 日時点) より。H12,17 は国勢調査結果

### ③ 土地利用の状況・課題

河辺地域の面積は約 30,110ha で、そのうち約 2 割（約 5,620ha）が河辺都市計画区域（非線引き都市計画区域）に指定されています。

和田駅周辺および七曲臨空工業団地が用途地域（約 140ha）に指定されています。地域内は広く農業地域の農用地区域（約 1,850ha）、森林地域の国有林（約 17,450ha）、地域森林計画対象民有林（約 3,630ha）、保安林（約 3,190ha）が指定されています。

北東部は、太平山県立自然公園として自然公園地域の特別地域（約 2,180ha）が指定されており、また、一部地域が自然保全地域の特別地域（約 130ha）に指定されています。

#### 【商業・業務地】

和田駅周辺に商業系用途が指定されていますが、隣接する南部地域に大規模商業施設が立地していることなどもあり、商業施設の集積はなく、国道 13 号沿道の工業系用途に商業施設が点在しています。

#### 【住宅地】

和田駅周辺の住宅系用途に低層住宅が集積していますが、その他は集落ごとに住宅地がまとまって見られます。

人口減少による空き家の発生や高齢化に伴う高齢者世帯の増加が課題となっており、空き家の有効活用とともに、高齢者の生活をサポートする仕組みづくりが求められています。

#### 【工業地】

地域の南側に七曲臨空港工業団地が整備されています。ただし、未分譲地も残されており、高速道路網や空港などの高速交通網を活かした、企業誘致などによる土地の有効活用が求められています。

#### 【農地・自然環境】

地域の東部には太平山県立自然公園など豊かな自然環境が広がっています。近年では、生活様式の変化や林業の停滞などにより、維持管理されない森林も増えており、適正な維持管理が必要です。

岩見川沿いに広がる平野部には、まとまった優良農地が確保されており、良好な田園空間が形成されていますが、その一方で、後継者不足、高齢化などにより耕作放棄地も増えていきます。今後も貴重な農業生産の場として、さらには交流の場として、都市・農村交流や人材の育成などによる適切な活用と管理が望まれます。

岩見川については、水量の増加などによる水害の恐れがあることから、引き続き防災対策の充実など、安全・安心な地域づくりに向けた対策が求められています。

ホテルなどが飛び交う豊かな生き物環境が残されており、適切な維持管理のもと生き物環境の保全を図る必要があります。

#### 【その他の拠点・都市機能】

和田駅周辺には、河辺市民サービスセンターなどの行政機能が整備されていますが、その他の文化機能や医療機能などの都市機能が不足しており、他地域の都市機能の活用も含めた対応が求められています。

### ④ 交通施設の整備状況・課題

#### 【地域間・地域内交通】

外周部環状道路に連絡し連続性のある幹線道路網を形成する放射道路として、国道13号が整備されています。

用途地域内には未整備路線も見られ、計画的な整備が望まれます。

#### 【公共交通】

本地域には、JR 奥羽本線の和田駅、大張野駅が整備され、マイタウン・バスも整備されています。しかし、鉄道とバスの乗り継ぎの不便さや運行本数の減少といった課題を有しており、利用者も減少傾向にあります。市民の日常の交通手段として、連携強化による機能の充実や利便性の向上が望まれます。

### ⑤ その他の状況・課題

#### 【景観形成】

旧羽州街道周辺においては、歴史的な雰囲気<sup>うやしない</sup>を継承する街並みづくりなど、歴史性を活かした、魅力ある景観づくりを進めていく必要があります。

太平山や筑紫森などの自然豊かな森林や岩見川などの河川の自然景観、鶺鴒<sup>うやしない</sup>などの農地と茅葺民家などで構成するのどかな田園景観の保全を図ります。また、岩谷山、へそ公園などから雄大な眺望景観が広がっており、適切な保全に努めます。

## (2) 目指すべき地域の姿

### 大自然に抱かれた清流岩見川と空陸交通の拠点のまち

- 太平山など秋田を象徴する 自然環境を活かしたまちづくり
- 農業や歴史、交通環境を活かした にぎわいを生み出すまちづくり
- 安心して住み続けることのできるまちづくり

本地域は、太平山県立自然公園や岩見川など豊かな自然環境が広がり、農産物の生産など農林業も盛んに行われています。また、旧羽州街道沿いの街並み、茅葺民家など地域の歴史を伝える資源も残されています。

さらに、秋田空港が近接し、地域内に日本海東北自動車道秋田空港インターチェンジが整備されているなど、空と陸とを結ぶ交通の要衝でもあります。

これらの自然、歴史・文化、交通環境などを活かしながら、地域コミュニティの充実、都市と農村との交流などによりにぎわいを生み出す拠点地域の形成を目指します。

市内でも高齢化の進んでいる地域であり、近隣地域との日常生活を支える都市機能の連携を図りながら、鉄道やバス交通などの公共交通の充実を図り、安心して住み続けることのできる地域づくりを進めます。

## (3) まちづくりの方針

### ① 土地利用の方針

#### 【利便性の高い地域中心の形成】

- 交通結節機能を有する和田駅を中心として、行政・文化機能や商業施設が集積している和田地区を、河辺地域の地域中心として位置づけます。
- 地域住民の生活拠点として、日常的な買い物をまかなう商業機能や医療・福祉機能、市民サービスを提供する公共公益機能の充実に向けた環境整備を促進し、利便性の高いまちを目指します。
- 和田駅周辺においては、高齢者が不自由なく快適に移動できるよう、自家用自動車交通に依存しない、鉄道やバス、タクシーなど、各種交通の乗り継ぎ拠点機能の充実を図ります。
- 地域内人口の減少や高齢化を見据え、地域中心への都市機能の充実と連携した、街なかへの住み替えや家屋の共同化、空き家など既存ストックの活用などによる職住近接の良質な居住環境を形成し、地域中心での街なか居住を促進します。
- 河辺市民サービスセンターを拠点に、地域における市民協働・都市内地域分権を推進するとともに、地域内の交流強化、市民や来訪者への地域情報の発信拠点としての活用等を進めます。

**【計画的な土地利用の誘導】**

- コンパクトな市街地形成による持続可能な都市の実現に向けて、市街化を促進する市街化区域と、市街化を抑制する市街化調整区域を区分する「線引き都市計画区域」である秋田都市計画区域との統合を目指します。
- 線引き都市計画区域への移行による、無秩序な開発行為等の防止と地域中心への都市機能の集積を図るとともに、郊外の既存集落の維持・活性化に資する都市計画制度の導入を検討します。

**【工業地の環境整備】**

- 高速道路や空港などへのアクセスしやすい交通環境、周辺の豊かな自然環境を活かし、七曲臨空港工業団地への環境・情報関連企業など幅広い企業誘致を促進し、周辺環境と調和した快適な操業環境の維持・増進を図ります。

**【自然環境の保全・管理】**

- 太平山県立自然公園など本地域の東側に広がる森林については、多様な生き物の生息環境であるとともに、田園や集落と一体的な本地域の自然景観の象徴であることから、防災や無秩序な開発の抑制に取り組みながら、市民や企業、行政など多様な主体の連携・協働による森林環境の保全・管理を図ります。
- 地域内を流れる岩見川などの河川については、景観に配慮した整備を促進し、水質の維持や美化活動など、多様な主体の協働に基づく河川環境の保全を図ります。
- 水辺に親しめるサイクリングロードや遊歩道の充実など、河川やダム湖などを活かした魅力ある環境の創出を促進します。

**【田園環境の保全・管理】**

- 岩見川などの河川沿いに広がる田園地帯については、無秩序な開発の抑制により良好な田園環境の維持・保全を図るとともに、農道・水路等の農業基盤の適切な維持・改修により農業生産環境の向上を促進し、優良農地の保全を目指します。
- 農業従事者の高齢化や後継者不足などを背景として、増加傾向にある耕作放棄地については、農業者だけでなく、地域住民や関係団体等が一体となった農地の保全に取り組むとともに、農村の自然や景観などを守る地域活動などにより、田園環境の維持・保全を図ります。

**【郊外既存集落の維持・活性化】**

- 高齢化や人口流出によって、衰退が懸念される郊外の既存集落については、コミュニティの維持・活性化を図るため、他都市からの住み替えやU・J・Iターンなどの新たな人口流入の促進に寄与する都市計画制度等の導入を検討します。

- 都市計画制度等の導入により、集落で発生している空き家や耕作放棄地については、地域活力の創出に向けて、農家民宿や体験農園などとしての利活用を促進し、都市と農村の交流拠点としての再生を目指します。

## ② 交通体系の整備方針

### 【幹線道路の整備促進】

- 秋田空港インターチェンジから秋田空港へ連絡する幹線道路の適切な管理を図り、高速道路へのアクセス性を維持します。
- 外周部環状道路に連絡する放射道路については、その機能の維持・増進に向けた適切な管理を促進します。

### 【持続可能な公共交通の確保】

- マイタウン・バスの路線網の再編やタクシーなどの利活用を含めた民間活力の導入促進により、公共交通の充実を目指します。
- 鉄道の運行本数の増加等に向けた働きかけや、パークアンドライドやライドアンドライドの促進に向けた駅周辺環境の整備などを目指します。

### 【安全で快適な道路環境づくり】

- 道路改良や冬期の安全対策の充実などによる、安全で快適な自動車、歩行者ネットワークの形成を図ります。
- 地域住民の連携による草刈り活動など、良好な沿道景観づくりに向けた取組を促進します。

## ③ その他の方針

### 【観光型まちづくりの促進】

- 地域の豊かな自然環境や歴史・文化、農業を活かしながら、空き家や耕作放棄地を活用した農家民宿や体験農園など、グリーンツーリズムの場の整備を促進します。
- 登山やカヌーなど、気軽に自然に親しめる場の充実を促進します。
- 太平山や岩見川など美しい自然景観、茅葺民家や旧羽州街道沿いの街並み、桜の名所など地域の見所や交流拠点などを紹介するパンフレットづくりとともに、それらを有機的につなぐ観光ルートの設定による交流人口の拡大を図ります。
- JA や商工会、行政などの支援のもと、都市・農村交流や観光による地域活力の創出に向けた、地域コミュニティの協力・連携体制の構築を図ります。
- 歴史的景観が残る鶴養地区において、伝統的な集落景観の保全に努めるとともに、都市と農村の交流につながる活用方策について検討します。

- ユフォーレやスポパークかわべなど、地域の既存施設の有効活用に向けた、市内外への積極的なPRの実施に取り組みます。

#### 【安全安心なまちづくり】

- 河川や山林の防災対策の充実とともに、緊急時の避難場所など防災拠点となる施設の適切な配置と機能の充実を図り、安全安心なまちづくりを目指します。
- 地域と行政等の協働による、市街地や農村地域における災害時の連絡・救助体制の構築を図ります。
- 防犯活動や除雪作業など、住民同士が支えあう地域コミュニティの連携強化によるまちづくり活動を促進します。
- 高齢者が安心して住み続けることができるように、高齢者の買物や通院などを助ける地域内の移送ボランティア組織など、地域コミュニティ内での自助組織の設立や、移動販売などの買物支援サービスの充実、多様なニーズに対応した住宅環境の整備などを総合的に促進します。

## ■ 河辺地域構想図

### 【計画的な土地利用の誘導】

- コンパクトな市街地形成による持続可能な都市の実現に向けて、線引き都市計画区域である秋田都市計画区域との統合
- 線引き導入による無秩序な開発行為等の防止と地域中心への都市機能の集積
- 線引き導入と同時に、郊外の既存集落の維持・活性化に資する都市計画制度の導入を検討

### 【持続可能な公共交通の確保】

- 和田駅での、鉄道やバス、タクシーなど各種交通の乗り継ぎ拠点機能の充実
- パークアンドライドやライドアンドライドの促進に向けた駅周辺環境の整備促進
- マイタウン・バスの路線網再編やタクシーなどの利活用を含めた、民間活力の導入などによる公共交通の充実
- 運行本数の増加などによる鉄道利便性の向上

### 【地域の高齢化を見据えたまちづくり】

- 老人の買物や通院などを助ける、地域内の移送ボランティア組織など、地域コミュニティ内での自助組織の設立の促進
- 移動販売などの買物支援サービスの充実
- 高齢者が安心して住み続けることができる住宅環境の整備

### 【安全で快適な道路環境づくり】

- 道路改良や冬期の安全対策の充実などによる、安全で快適な道路環境の整備
- 地域住民の連携による草刈り活動など、良好な沿道景観づくりに向けた取組

- 高速道路や空港などへのアクセス性を活かした、七曲臨空港工業団地への企業誘致の促進
- 周辺環境と調和した快適な操業環境の維持・増進

### 【観光型まちづくりの促進】

- 豊かな自然環境や歴史・文化、農業を活かし、グリーンツーリズムの場の整備を促進
- 空き家や耕作放棄地の管理・活用による、農家民宿や体験農園など都市・農村交流拠点づくりの促進
- 登山、カヌーなどの自然体験の場の充実
- 地域の見所や交流拠点などを紹介するパンフレットづくりやそれらを有機的につなぐ観光ルートの設定による交流人口の拡大
- JA や商工会、行政などの支援による、都市・農村交流や観光を起点とした地域活力の創出に向けた、コミュニティの協力・連携体制の構築

### 【自然環境の保全・管理】

- 無秩序な開発の抑制や多様な主体の連携・協働による、良好な森林環境の保全・管理
- 太平山を望む美しい景観の維持・保全

### 【河川環境の維持・管理】

- 景観にも配慮した河川整備の促進
- 多様な主体の協働に基づく積極的な美化活動による河川環境の保全
- 水辺に親しめるサイクリングロードや遊歩道の充実など、魅力ある河川環境の創出

### 【田園環境の保全・管理】

- 無秩序な開発の抑制による良好な営農環境の維持・保全
- 農道・水路等の農業基盤整備による農業生産環境の向上
- 多様な主体による耕作放棄地の多角的な活用による田園環境の維持・保全

### 【郊外既存集落の維持・活性化】

- 既存集落の維持・活性化に向けて、他都市からの住み替えやU・J・Iターンなどの新たな人口流入の促進に寄与する都市計画制度等の導入を検討
- 空き家の活用による定住人口の確保

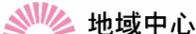
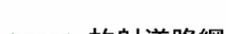
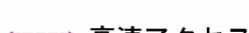
- ユフォーレやスポパークかわべなど、既存施設の積極的なPR 展開と利活用の促進

### 【安全安心なまちづくり】

- 緊急時の避難場所など、防災拠点となる施設の適切な配置と機能の充実
- 河川・山林の防災対策の充実
- 地域や行政等の協働による、災害時における連絡体制の構築
- 防犯活動や除雪作業など、地域コミュニティの連携強化によるまちづくり活動の促進

### 【地域中心（和田地区）の都市機能】

- 地域住民の生活拠点として、日常的な買い物をまかなう商業機能や医療・福祉機能、市民サービスを提供する公共公益機能の充実に向けた環境整備を促進
- 地域内人口の減少や高齢化を見据え、街なかへの住み替えや家屋の共同化など、地域中心での街なか居住を促進
- 河辺市民サービスセンターなどを中心とした、地域の生活情報を発信する情報拠点づくりの促進

- |   |        |   |        |
|---|--------|---|--------|
|  | 複合系市街地 |  | 地域中心   |
|  | 住居系市街地 |  | 水と緑の拠点 |
|  | 沿道系市街地 |  | 交通結節拠点 |
|  | 工業地区   |  | 放射道路網  |
|  | 田園共生地区 |  | 高速アクセス |
|  | 農業振興地区 |   |        |
|  | 自然保全地区 |   |        |